2026年第3四半期 決算説明会

株式会社ブリヂストン

常務役員 CFO

菱沼　直樹

2026年11月12日

BRIDGESTONE
Solutions for your journey

1. 2026年第3四半期累計・通期見通し 連結業績総括 ・・・ 3

2. 2026年第3四半期累計 連結業績 ・・・ 5

1. 2026年第3四半期累計・通期見通し 連結業績総括

2026年第3四半期累計・通期見通し 連結業績総括

第3四半期累計 連結業績（対前年）

- 原材料コスト上昇の影響が第3四半期より顕在化した一方で、販売数量増、売値・MIXの改善が継続。
  円安による為替の追い風等も寄与し、増収増益での着地。売上収益、調整後営業利益ともに過去最高を更新。
- 2月に対外発表した資本政策は着実に推進、計画通りに完了。

通期業績見通し：2月対外発表数値　売上収益上方修正、売上収益以外は修正なし

- 鳥栖工場火災影響：具体的な影響額については精査中も、現時点では通期業績予想に与える影響は限定的と見込む。
- 売上収益：為替前提変更及び、中東情勢の影響や各種対策の効果等を踏まえ、45,000億円から47,000億円に上方修正。
- 中東情勢に伴うコスト上昇影響試算： 約700億円／通期（8月対外発表）
  ⇒8月試算対比で若干のコスト増加を見込む。
- 足元の進捗を踏まえ、通期計画から一定程度の利益上振れの可能性有り。一方、第4四半期は原材料コスト上昇影響の拡大等、より厳しい事業環境が想定され、通期業績予想を据え置き、様々な対策に取り組み達成を目指す。

2. 2026年第3四半期累計 連結業績

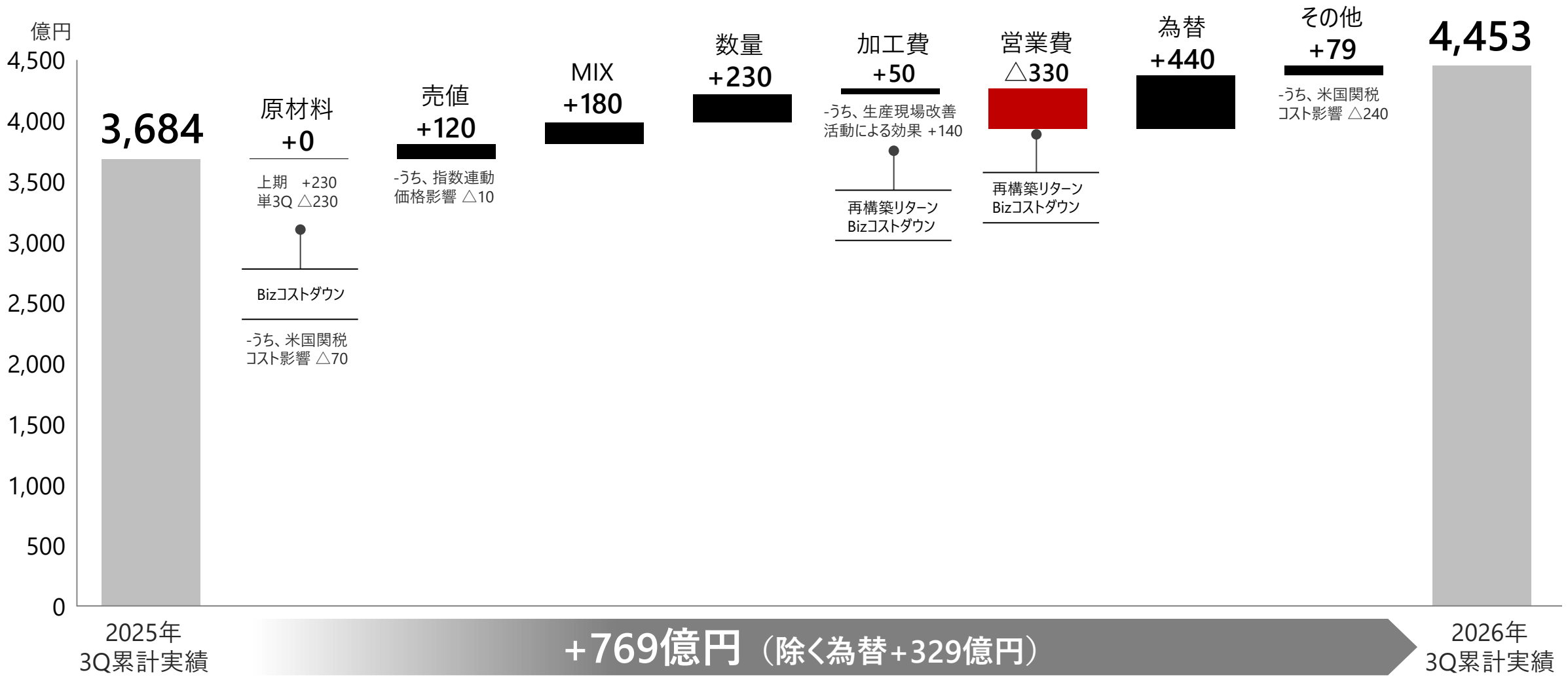
2026年第3四半期累計 連結業績

（単位：億円）

		2025年 第3四半期 累計実績	上期累計	前年比増減（%）	第3四半期	前年比増減（%）	2026年 第3四半期 累計実績	前年比増減（%）
売上収益		32,349	23,217	+10	12,326	+10	35,543	+10
調整後営業利益		3,684	2,809	+20	1,644	+23	4,453	+21
利益率		11.4%	12.1%	+1.0pp	13.3%	+1.4pp	12.5%	+1.1pp
親会社の所有者に帰属する四半期利益		2,035	2,062	+79	1,127	+28	3,189	+57
為替レート	USドル	148円	158円	—	159円	—	159円	—
	ユーロ	165円	185円	—	183円	—	184円	—

※ 売上収益、調整後営業利益は、「継続事業」のみの金額・数値を表示しております。

2026年第3四半期累計 調整後営業利益増減要因：前年差



2026年第3四半期累計 セグメント別業績

（単位：億円）

		2025年 第3四半期累計実績	**2026年 第3四半期累計実績**	前年比増減（%）	
日本	売上収益	9,121	**9,655**	+6	• 3Qは値上げ前の駆け込み需要が販売を押し上げ。 • 為替円安に加え、市販用PSタイヤの販売増、売値・MIX改善が増収増益に貢献。 • 新車用PSタイヤの販売も堅調に推移し、業績改善に寄与。
	調整後営業利益	1,318	**1,716**	+30	
	利益率	14.4%	**17.8%**	+3.3pp	
アジア・大洋州・インド・中国	売上収益	3,734	**4,247**	+14	• PS/TBともに販売が前年比で伸長し、増販継続。 • 原材料コスト上昇による減益影響あるも、リーンな経費マネジメントを継続。HRD拡販によるMIX改善もあり増収増益、利益率向上。
	調整後営業利益	411	**503**	+22	
	利益率	11.0%	**11.8%**	+0.8pp	
米州	売上収益	15,786	**17,534**	+11	• 北米：新商品やマルチブランド戦略が貢献し、市販用にてPS/TB共に1-9月累計で需要を上回る販売を達成。また、TB新車用は3Qより需要が回復し、対前年を著しく上回る販売を達成。 • 南米：黒字継続。厳しい事業環境下、体質改善や販売強化に取り組む。
	調整後営業利益	1,578	**※1,582**	+0	
	利益率	10.0%	**9.0%**	△1.0pp	
欧州・中近東・アフリカ	売上収益	6,263	**6,827**	+9	• 欧州での高インチタイヤを中心としたプレミアムタイヤの増販継続。再編・再構築効果も着実に発現し、増収増益、利益率向上。 • 中東情勢は不安定な状態が継続。中近東での売上・利益は対前年減少なるも、連結業績への影響は軽微。
	調整後営業利益	331	**※ 458**	+38	
	利益率	5.3%	**6.7%**	+1.4pp	

※グループ会社間のロイヤリティ料率変更に伴い、営業費が増加し、調整後営業利益に減益影響が生じています（米州：約86億円、欧州・中近東・アフリカ：約57億円）。
一方で、各セグメントと連結合計の間にある「全社又は消去」において同額の増益影響が生じるため、連結業績への影響はありません。

BRIDGESTONE

2026年第3四半期累計 財別業績

（単位：億円）

		2025年 第3四半期累計実績	**2026年 第3四半期累計実績**	前年比増減（%）	
PS/LT（小売・クレジットカード事業を含む）	売上収益	18,005	**19,990**	+11	• 高インチタイヤ等のプレミアムタイヤの拡販、MIX改善が継続。 • 小売事業の収益性改善も貢献。
	調整後営業利益	1,948	**2,343**	+20	
	利益率	10.8%	**11.7%**	+0.9pp	
TB（リトレッド事業を含む）	売上収益	7,482	**8,166**	+9	• 販売が堅調に推移し、再編・再構築等による体質改善効果もあり前年比で増収増益、利益率も改善。 • 北米の市販用、新車用共に需要を上回る販売を達成し、増収増益に貢献。北米新車用需要は第3四半期に大幅回復。
	調整後営業利益	698	**778**	+11	
	利益率	9.3%	**9.5%**	+0.2pp	
Specialties（OR/AC/AG/MC）	売上収益	4,737	**5,192**	+10	• 鉱山用の超大型ORタイヤの販売が堅調に推移。 • 為替円安による増益影響等により、高い収益性を継続。
	調整後営業利益	974	**1,269**	+30	
	利益率	20.6%	**24.4%**	+3.9pp	
化工品・多角化事業	売上収益	2,125	**2,195**	+3	• 地道な改善による事業体質向上を継続も、前年比増収減益での着地。前年の一過性項目の影響を除けば、対前年増益、利益率改善。
	調整後営業利益	63	**62**	△2	
	利益率	3.0%	**2.8%**	△0.1pp	

BRIDGESTONE

2026年第3四半期累計 事業ポートフォリオ別業績

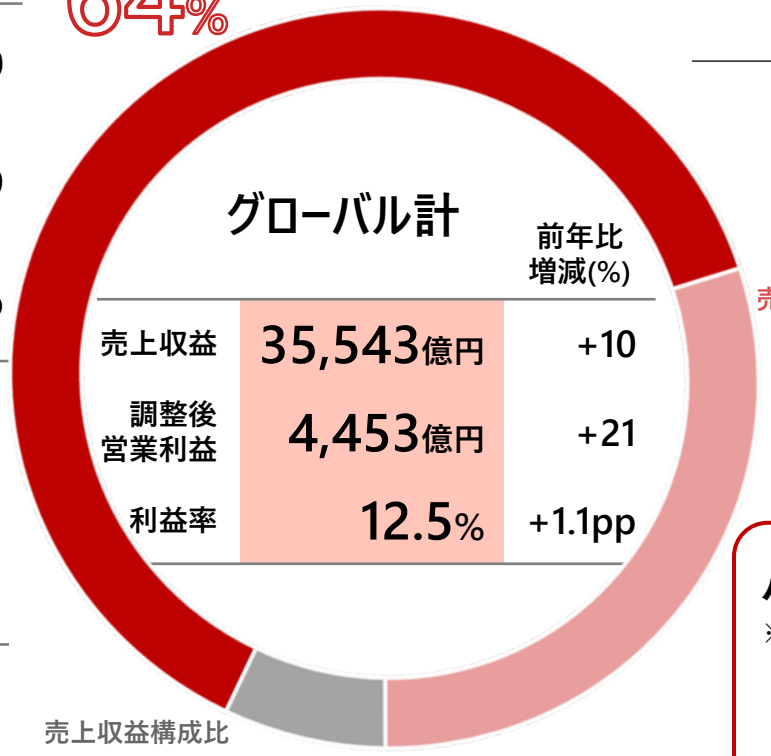
■ コア事業―タイヤ事業：**増収増益。利益率14%強へ回復**

■ 成長事業―生産財系BtoBソリューション：**増収増益**
売上+13%成長、AOP額+33%成長、AOP率13%強を達成
小売：**増収増益、収益性改善**

タイヤ事業 コア事業

		前年比増減(%)
売上収益	23,696億円	+10
調整後営業利益	3,474億円	+19
利益率	14.7%	+1.1pp

売上収益構成比 64%



グローバル計

		前年比増減(%)
売上収益	35,543億円	+10
調整後営業利益	4,453億円	+21
利益率	12.5%	+1.1pp

売上収益構成比 30%

売上収益構成比 6%

ソリューション事業 成長事業

※ソリューション事業に小売タイヤを含む

		前年比増減(%)
売上収益	11,207億円	+9
調整後営業利益	934億円	+22
利益率	8.3%	+0.9pp

化工品・多角化事業

		前年比増減(%)
売上収益	2,195億円	+3
調整後営業利益	62億円	△2
利益率	2.8%	△0.1pp

小売サービス

※北米金融小売を含む

		前年比増減(%)
売上収益	8,247億円	+8
調整後営業利益	533億円	+15
利益率	6.5%	+0.4pp

生産財系 BtoBソリューション

		前年比増減(%)
売上収益	2,960億円	+13
調整後営業利益	401億円	+33
利益率	13.5%	+2.1pp

※連結消去等の関係で、事業別売上収益の単純合計は全社売上収益と一致しません。
※構成比は、事業別売上収益の単純合計より計算しております。

2026年第3四半期 財政状態計算書及びキャッシュ・フローハイライト

（単位：億円）

	2025年期末実績	2026年第3四半期期末実績	対前年末	
資産合計	57,477	57,681	+204	
現金及び現金同等物	7,138	7,227	+88	
(月商比)	(1.9カ月)	(1.8カ月)	(△0.1カ月)	
棚卸資産	8,855	9,398	+543	△26※
商品及び製品	5,647	6,001	+354	
負債合計	20,278	20,353	+75	
有利子負債〈グロス〉	8,270	8,871	+600	
資本合計	37,199	37,328	+129	
親会社所有者帰属持分比率	63.7%	63.8%	+0.0pp	
CCC (Cash Conversion Cycle)	171日	171日	△1日	△1日※
期末為替レート USドル	157円	157円	+0円	
期末為替レート ユーロ	184円	178円	△6円	
	2025年第3四半期累計実績	2026年第3四半期累計実績	対前年同期	
営業CF	4,198	4,872	+674	
投資CF	△1,761	△1,775	△14	
フリーCF	2,437	3,097	+660	
設備投資	2,216	2,139	△77	
減価償却費及び償却費	2,654	2,774	+120	

資本政策（財務活動） 26年2月対外発表

- 企業価値向上に資する投資、最適資本構成（資本効率化）に向けた施策として、**1,500億円**を上限とする**自己株式の取得を実施予定**
- 業界トップ水準の格付けを維持しつつ、最適資本構成の構築とWACC低減による企業価値向上（ROIC-WACCスプレッド拡大）に資する施策の一環として、普通社債等にて**1,500億円の資金調達予定**

自己株式の取得、負債の活用を計画通り完了

負債の活用（資金調達）

□ 1,500億円の資金調達完了

自己株式取得

□ 1,500億円取得・消却完了

消却前発行済株式総数(自己株式を除く)に対する割合 3.5%

※ 対前年同期、除く為替

BRIDGESTONE

BRIDGESTONE

Solutions for your journey

免責条項

本資料に掲載されている業績予想、計画、戦略、目標などのうち歴史的事実でないものは、作成時点で入手可能な情報からの判断に基づき作成したものであり、リスクや不確実性を含んでいます。そのため、今後の当社を取り巻く経済環境・事業環境などの変化により、実際の業績が掲載されている業績予想、計画、戦略、目標などと大きく異なる可能性があります。従いまして、投資に関する決定はご自身のご判断においてなさるようお願いいたします。

Copyright © Bridgestone Corporation

Appendix

相場動向（平均価格）推移

	2025年				2026年		
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q
天然ゴム〈TSR20〉※1（¢/kg）	197	168	170	173	191	218	229
天然ゴム〈RSS#3〉※1（¢/kg）	240	221	219	206	229	278	279
原油〈WTI〉（$/bbl）	71	64	65	59	73	93	86

※1 Source: Singapore Commodity Exchange Limited 期近市況価格

2026年第3四半期累計 タイヤ需要（本数 対前年）

当社推定値	PSR/LTR（乗用車/ライトトラック用）		TBR（トラック・バス用）	
	OE（新車用）	REP（市販用）	OE（新車用）	REP（市販用）
日本	104%	103%	105%	100%
北米	99%	95% ※2	98%	90% ※2
欧州	99%	100%	104%	102%

※2 メンバー需要：米国・カナダのタイヤ製造者協会※3に参加するタイヤブランド（除く輸入品）
全体需要（Non Memberの需要を含む）は次の通り。PSR/LTR REP：97%　TBR REP：91%
※3 USTMA (U.S. Tire Manufacturers Association) + TRAC (Tire Rubber Association of Canada)

2026年第3四半期累計 タイヤ販売（本数 対前年）

PSR/LTR

	対前年
グローバル (OE+REP)	102%

	OE (新車用)	REP (市販用)
グローバル	101%	103%
日本	102%	111%
アジア・大洋州・インド・中国	103%	103%
北米	106%	98%
欧州	95%	107%

TBR

	対前年
グローバル (OE+REP)	101%

	OE (新車用)	REP (市販用)
グローバル	104%	100%
日本	99%	100%
アジア・大洋州・インド・中国	113%	105%
北米	123%	101%
欧州	79%	100%

※TBRについては、中国を除外した数値を記載しております。

PSR/LTR 18インチ以上

	対前年
グローバル(OE+REP)	106%
REP	106%

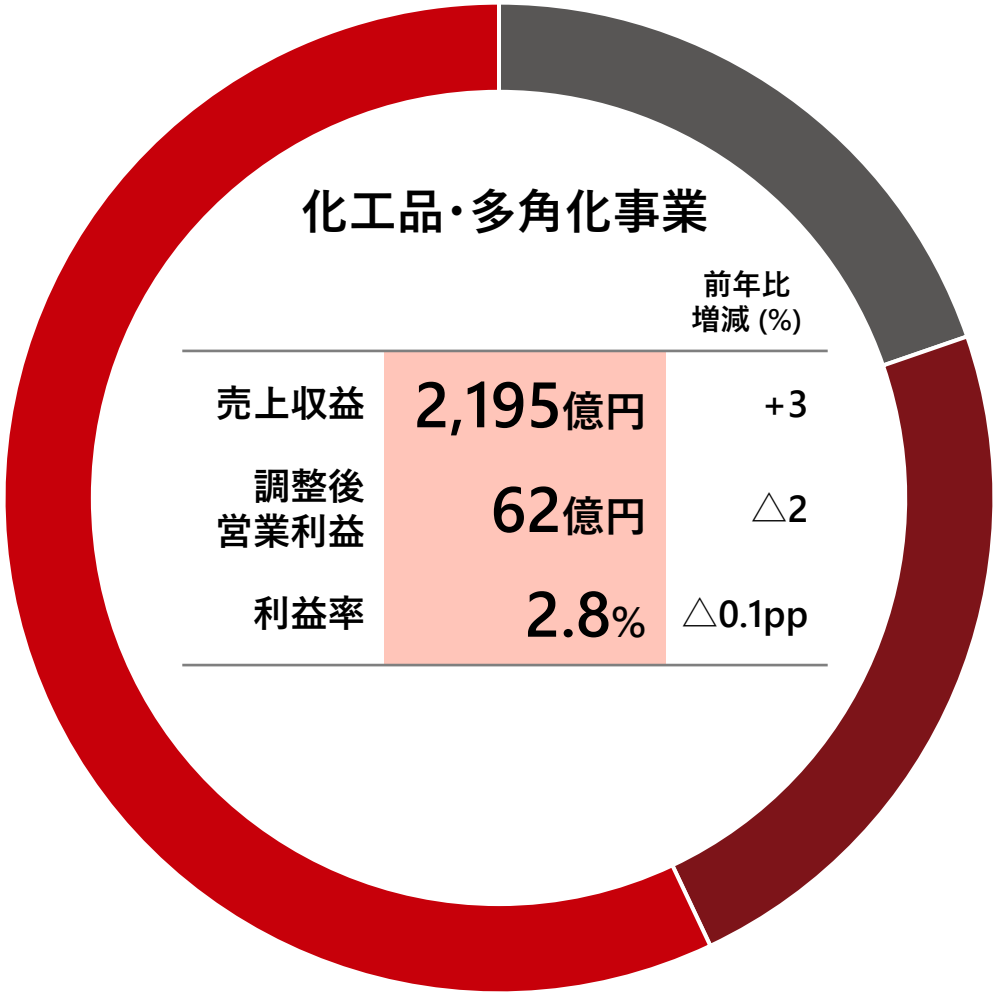
ORR

	対前年
超大型	101%
大型	90%
中小型	105%

2026年第3四半期累計 化工品・多角化事業 事業別業績

化工品事業

		前年比増減(%)
売上収益	1,235億円	+4
調整後営業利益	60億円	+5
利益率	4.8%	+0.0pp



化工品・多角化事業

		前年比増減 (%)
売上収益	2,195億円	+3
調整後営業利益	62億円	△2
利益率	2.8%	△0.1pp

スポーツ・サイクル事業

		前年比増減 (%)
売上収益	427億円	△3
調整後営業利益	△14億円	-
利益率	△3.3%	△0.6pp

米州多角化事業（空気バネ）

		前年比増減 (%)
売上収益	504億円	+7
調整後営業利益	18億円	△6
利益率	3.6%	△0.5pp

重点課題取り組み状況：魅力的な商品とモノづくり

※新商品数：グローバル合計
※販売本数：グローバル市販用、前年比

乗用車用タイヤ（小型トラック・バス用タイヤ含む）

2026年 事業計画　新商品数：25以上　販売本数：101~105%※

▶ 2026年 3Q累計　商品数：25　販売本数：103%※

北米

ULTRAWEATHER™

ツーリング領域のスノーフレーク※マーク付き
オールシーズンタイヤ（2026年6月発売）



※スリーピーク マウンテン スノーフレーク (3PMSF)

DESTINATION™ LE4

耐摩耗性能と安心・安全を両立したSUV向け
オールシーズンタイヤ（2026年9月発売）



日本

POTENZA RE-71RZ

ストリートラジアル史上最速を追求した
スポーツタイヤ（2026年2月発売）



BLIZZAK ICEPEAK

スタッドレス領域の旗艦商品
（2026年9月発売）



トラック・バス用タイヤ

2026年 事業計画　新商品数：10以上　販売本数：101~105%※

▶ 2026年 3Q累計　商品数：6　販売本数：100%※

豪州

ECOPIA M759

長距離輸送向け低燃費タイヤ (ドライブ軸)
（2026年8月発売）



ECOPIA R119II

長距離輸送向け低燃費タイヤ (トレーラー軸)
（2026年8月発売）



日本

W909

V-STEEL STUDLESS W909
トラック・バス用スタッドレスタイヤ
（2026年9月発売）



多角化事業

B-FORGED 100CB 200CB+

ゴルフクラブ アイアン（2026年9月発売）



BRIDGESTONE

BRIDGESTONE

Solutions for your journey

免責条項

本資料に掲載されている業績予想、計画、戦略、目標などのうち歴史的事実でないものは、作成時点で入手可能な情報からの判断に基づき作成したものであり、リスクや不確実性を含んでいます。そのため、今後の当社を取り巻く経済環境・事業環境などの変化により、実際の業績が掲載されている業績予想、計画、戦略、目標などと大きく異なる可能性があります。従いまして、投資に関する決定はご自身のご判断においてなさるようお願いいたします。

Copyright © Bridgestone Corporation